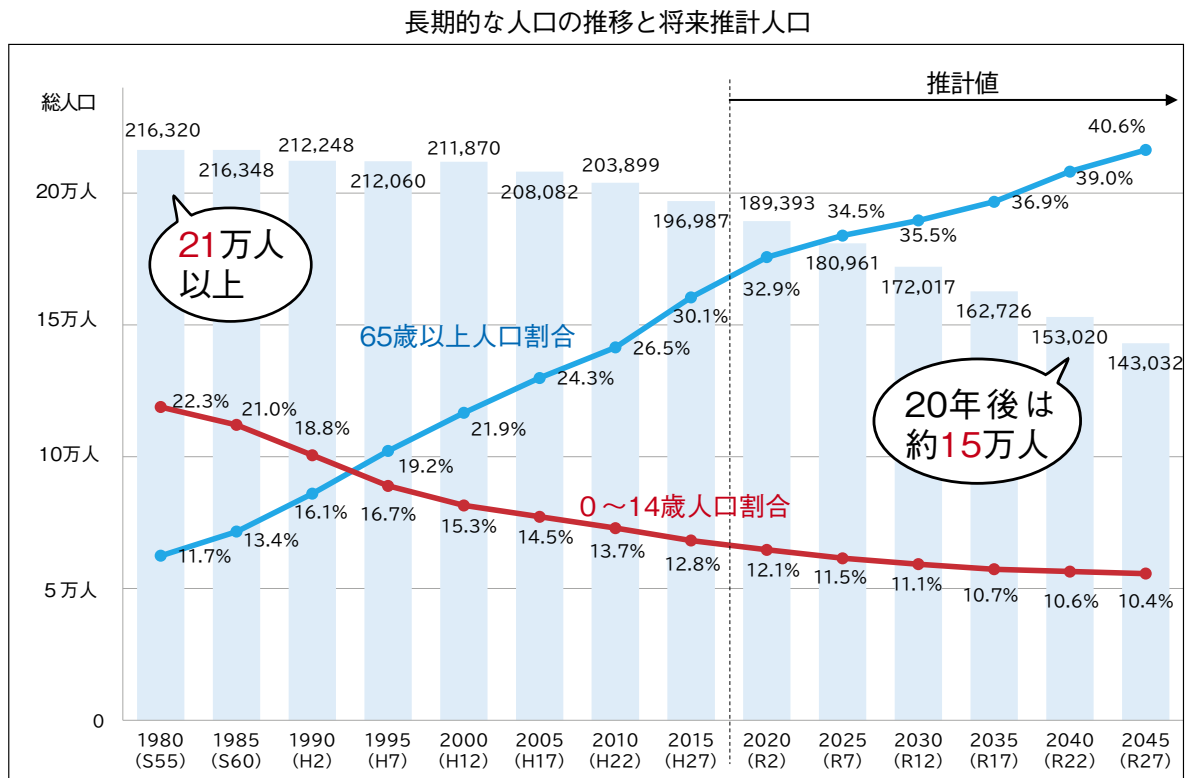


人口減少を知ろう！考えよう！行動しよう！

市では、人口減少の緩和と人口減少社会であっても持続可能なまちの形成に向けて、「第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：令和2年度～6年度）を策定し、さまざまな主体の皆さんとともに地域を挙げた取り組みを推進しています。

20年後の上越市の人口は、約15万人にまで減少すると予測されています

人口減少が進むことにより、労働力や地域活動の担い手の不足、消費の減退のほか、行政サービスや社会保障制度の維持、インフラの維持・更新の在り方など、市民生活と市政運営に大きな影響を及ぼすことが想定されます。

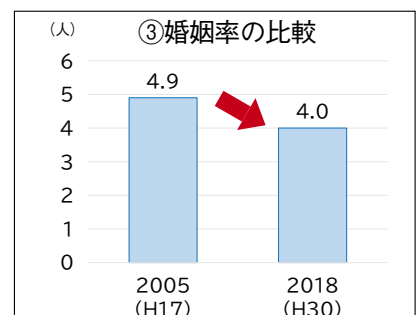
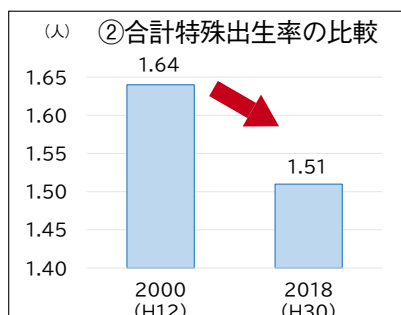
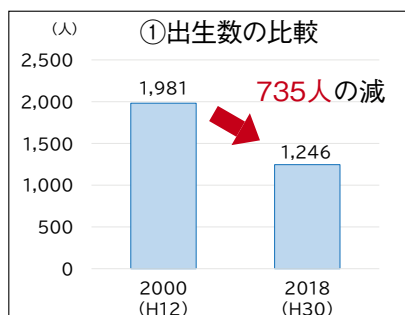


出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30年3月推計）より作成。
 ※平成12年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの。

なぜ上越市の人口は減り続けているのか？

出生数が死亡数を下回る「自然減」

自然増減を左右する要因の一つである出生数は減少傾向にあります（グラフ①）。また、1人の女性が生涯に産むことが見込まれる子どもの数を示す合計特殊出生率も低下しているほか（同②）、出生数に関連する婚姻率も低下しています（同③）。こうした自然減が一つ目の要因です。



出典：①、②厚生労働省「人口動態調査」 ③新潟県人口動態統計の概況（婚姻率は、人口千人に対する婚姻件数の割合）